



平成 20 年 11 月 14 日

各 位

会 社 名 酒井重工業株式会社
 代 表 者 名 代表取締役社長 酒井 一郎
 コード番号 6 3 5 8 (東証 第 1 部)
 問 合 せ 先 取締役管理部長 渡辺 秀善
 TEL 03-3434-3401

業績予想の修正及び特別損失の計上 並びに繰延税金資産取崩しのお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 20 年 5 月 15 日の決算発表時に公表しました平成 21 年 3 月期第 2 四半期累計期間（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）及び通期（平成 20 年 4 月 1 日～平成 21 年 3 月 31 日）の業績予想を下記のとおり修正するとともに、特別損失の計上及び繰延税金資産の取崩しの概要についてお知らせ致します。

記

1. 特別損失の計上について

当第 2 四半期の急激な株価下落に対して、当社が保有する投資有価証券のうち、「著しく下落した株式」並びに「著しく下落していないものの株価回復の見込みが予測出来ない株式」について、次の投資有価証券評価損を計上することと致しました。

投資有価証券評価損の計上額： 5 9 百万円

2. 繰延税金資産の取崩しについて

後述 4 の通期業績予想数値の修正に伴い、当社が計上しておりました繰延税金資産の回収可能性について税効果会計規則に基づき慎重に検討致しました結果、当第 2 四半期において次の通り繰延税金資産の一部を取崩し、法人税等として計上することと致しました。

(1) 平成 20 年 3 月期 繰延税金資産の残高： 4 2 9 百万円
 (2) 平成 21 年 3 月期 当第 2 四半期の取崩し額： 2 5 3 百万円

3. 平成 21 年 3 月期第 2 四半期連結累計期間 業績予想数値の修正（平成 20 年 4 月 1 日～平成 20 年 9 月 30 日）

(1) 連結業績予想数値の修正 (単位：百万円)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	四 半 期 純 利 益	1 株 当 たり 四 半 期 純 利 益
前回発表予想 (A) (平成 20 年 5 月 15 日発表)	11,200	410	260	180	4.23
今回修正予想 (B)	9,914	341	289	△ 109	△ 2.57
増減額 (B-A)	△ 1,286	△ 69	29	△ 289	△ 6.80
増減率 (%)	△ 11.5	△ 16.8	11.2	—	—
(ご参考) 前期第 2 四半期実績 (平成 20 年 3 月期第 2 四半期)	9,359	168	20	△ 142	△ 3.36

単位：1 株当りの当期純利益は円

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年5月15日発表)	8,700	130	110	80	1.88
今回修正予想 (B)	7,990	116	137	△ 226	△ 5.33
増減額 (B-A)	△ 710	△ 14	27	△ 306	△ 7.21
増減率 (%)	△ 8.2	△ 10.8	24.5	—	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (平成20年3月期第2四半期)	7,228	41	15	△ 233	△ 5.49

単位：1株当りの当期純利益は円

(3) 修正の理由

- ① 四半期純利益に関し、前述1の投資有価証券評価損59百万円の計上並びに前述2の繰延税金資産253百万円の取崩しの結果、連結、個別共に前回予想値を下回ることになりました。
- ② 売上高、営業利益、経常利益につきましては、概ね前回予想値の水準を確保し、前年同期比で増収増益を達成することができました。

4. 平成21年3月期通期 業績予想数値の修正 (平成20年4月1日～平成21年3月31日)

(1) 連結業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年5月15日発表)	23,000	1,000	650	540	12.70
今回修正予想 (B)	19,500	400	290	△ 170	△ 4.00
増減額 (B-A)	△ 3,500	△ 600	△ 360	△ 710	△ 16.70
増減率 (%)	△ 15.2	△ 60.0	△ 55.4	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	21,747	887	464	302	7.12

単位：1株当りの当期純利益は円

(2) 個別業績予想数値の修正

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A) (平成20年5月15日発表)	17,700	460	400	330	7.76
今回修正予想 (B)	15,800	150	170	△ 200	△ 4.70
増減額 (B-A)	△ 1,900	△ 310	△ 230	△ 530	△ 12.46
増減率 (%)	△ 10.7	△ 67.4	△ 57.5	—	—
(ご参考) 前期実績 (平成20年3月期)	16,393	332	254	△ 302	△ 7.10

単位：1株当りの当期純利益は円

(3) 修正の理由

世界的な金融情勢の急激な大調整局面を迎える中、金融危機に伴う実体経済の悪化が鮮明になり、足元では顧客層の資金調達難や円の独歩高と新興市場通貨の異常な下落による交易条件の悪化など、当下半期の事業環境は予断を許さぬ極めて厳しい状況が続くことが想定されます。

世界的な金融安定化政策や財政出動による公共投資拡大も期待されますものの、この激変する厳しい経済情勢に対して当企業グループでは、短期的には当下半期販売が前年同期実績から2割規模で減少することも覚悟し、在庫調整も含めて3割規模の生産調整を断行するとともに、中期的な企業戦略の軸をグローバル戦略製品に定め、製品開発と世界市場開拓に経営資源を集中して参る方針であります。

このような事業環境見通しと対応方針を踏まえ、連結及び個別の通期業績予想数値を上記の通り修正致します。

上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上